

ナラ枯れ (カシノナガキクイムシ)



9月にナラ枯れが発生していた林も 木々が葉を落とし見通しが良くなった。

被害拡大を防ぐため 被害木は伐倒され カシノナガキクイムシの燻蒸殺虫処理が行われている。被害にあっていない木はロープでぐるぐる巻きに。

被害拡大を防ぐことができるでしょうか。

見かけた 植物・生き物



実の残るセンダン



実が食べられたセンダン



実の残るピラカンサ



実が食べられたピラカンサ  
木によって、食べられ方の差がある。



何者かの 通り道



ハラビロカマキリ 卵塊



センダンが増えてきた 奴きためフン



冬の尾根道

雨の日の ホシハジロ



24日からの10年に1度といわれる強い寒波が過ぎたが、この日の堺市の平均気温は3.2℃。冷たい雨が降り続く中、活動する野鳥がみられた。



ムグドリ



ヒヨドリ



ツグミ



アオジ



ミサゴ



メジロ



雨で 六甲山・神戸方面の景色は見えない

雨水 (うすい)



2月19日は二十四節季の雨水。空から降るものが雪から雨に変わり季節が春に向かう頃。この日の堺市の平均気温は12.0度。午前中の最高気温は18.3℃。4月上旬並みの暖かさ。雨が降っていたがそれほど寒くはない。辺りはまだ冬の景色でしたが、梅が咲き、ウグイスが鳴きはじめ、少し春が見えてくる雨水にふさわしい一日でした。

見かけた 植物・生き物



ウメ



ヒメオドリコソウ



ホトケノザ

春の花が咲き始めた



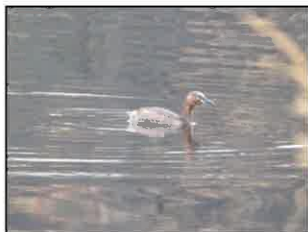
スイセン



実の残る センダン



ハシビロガモ



カイツブリ

ウメ



ウメの花 が見ごろを迎えていた



モズ



メジロ



ケリ



ハクセキレイ



センダンの実と ヒヨドリ



ムクドリ



白顔のタヌキ(J山)



慌てて逃げる



カワラヒワ アキニシの実を食べる

センダンの実



冬の間、木の実は鳥やタヌキなどの食べ物になってきた。最後に残されたのはセンダンの実。ヒヨドリがセンダンの実を食べていた。

この日は記録的な暖かさとなり、西日本各地で3月の観測史上最高気温を記録。堺市の最高気温は23.7℃。5月上旬の暖かさでした。

春がやってきた。

林の様子



木々の枝先に 赤みがさしてきた



ツチイナゴ(越冬)



テングチョウ



モンキチョウ



モンシロチョウ



ベニシジミ



ルリシジミ

見かけた 植物・生き物



実の残るセンダン



実の少なくなったナンキンハゼ



実のなくなった トウネズミモチ



実のなくなった ノバラ



モモ



モモ



ホトケノザ



ヒメオドリコソウ

第18回 共生の森 植樹祭



133名の参加により 9種 500本の苗木植栽  
樹種：スダジイ・アラカシ・ムクノキ・コナラ・エノキ・ヤマザクラ・イロハモミジ・ミズキ・ヤマボウシ

メダカ



メダカ



メダカがいた水路(4月18日)



干上がった水路の深み(3月11日)

2022年の堺市の年間降水量は967ミリ(平均降水量1,233/年)。2005年以來の降水量の少ない年だった。メダカのいた水路は10月頃から水位が下がり、3月には深みのある場所も水が無くなっていた。メダカは「共生の森」には自然にやってきたので特に手を加えずに様子を見守っていたが、この日、水位の回復した場所に生き延びたメダカがいた。水路全体で見ると数はかなり減っていたが飛びとびにメダカのいる箇所がみられた。写真のメダカは卵を持っているような感じなので、例年並みの雨が降ればまた数が回復することでしょう。

見かけた 生き物・植物



カナヘビ



クビキリギス(越冬)



アキグミ・ヒゲナガハナバチ



ツグミ 北に帰る



シオカラトンボ



セイヨウカラシナ・クマバチ



ツマキチョウ



コアオハナムグリ



ヒラドツツジ・ヒゲナガハナバチ



ウバメガシ



ノイバラ



アカバナルリハコベ



カラスノエンドウ



カスマグサ



スズメノエンドウ



オヤブジラミ



ヤエムグラ



キタキチョウ



モンキチョウ



ベニシジミ



ヤマトシジミ



ルリシジミ

ハラビロトンボ (トンボ科)【初登場】



尾根の道沿いの草原に すんぐりとしたハラビロトンボがいた。あまに飛び回るのはなさそうな感じ。見かけたのは1匹だけ。

「共生の森」にはどこから、どのようにしてやってきたのでしょうか。「共生の森」に定着するのでしょうか。ハラビロトンボは「共生の森」にやってきた18番目のトンボとなった。

見かけた 生き物・植物



ウスカワマイマイ



ニホンミツバチ



ツチイナゴ(越冬)



ハナムグリを捕まえた オンゴモ



オオヒラタシデムシ



ビロウドサシガメ



タヌキのフン ゴマダラチョウ



モンシロチョウ

ミシシippアカミミガメ



「共生の森」の南端の水路に ミシシippアカミミガメがいた。この水路は陸伝いにカメが「共生の森」やってきた場合に最初に越えなければならない水路。これまで見た2匹のカメもこの水路でみかけたことから、カメは陸伝いに「共生の森」にやってきて、この水路に落ちたのではないかと考える。



スイカズラ コア・アヒメハナムグリ



クワの実(マグワ)



センダン



ザクロ



セイヨウイボタ



ハマヒルガオ



コバンソウ



タイリクアカネ



ショウジョウトンボ



シオカラトンボ

トノサマガエル【初登場】



「共生の森」の南端の水路沿いを歩いているとあわてて潜る生き物の姿が見えた。

またカメがいたのかと思い、網ですくってみるとトノサマガエルが入っていた。

「共生の森」でトノサマガエルを見たのは初めて。「共生の森」の南端の水路にいたので、トノサマガエルは南側の工場地帯を抜けてやって来たのでしょうか。

ホトトギス



ホトトギスが一日、飛びまわっていた

ホシハジロ



まだ残っていた。いつまでいるのでしょうか。

メダカ水路



「生の森」の南端にある水路。メダカが棲み、今回トノサマガエルがいた水路。集水面積によって水路の幅は上流に行くと狭くなる。幅は狭いがいろいろな生き物がいて生き物観察に適した水路。

見かけた 生き物・植物



フタモンアシナガバチ



ナヨクサフジとニホンミツバチ



シンジュ コアオ・アヒハナムグリ



アオモンイトトンボ



ゴマダラチョウ 産卵



テングチョウ



シナサワグルミ



シサワグルミにきた アメリンガ

シマヘビ



フェンスにシマヘビがよじ登っていた。フェンスの上で何かを探しているよう。カエルなどの少ない「共生の森」で何を食べているのでしょう。

鳥の巣でも探しているのか。体長1m程度。

シマヘビは気温の低い季節に道路にいるのを見かけたり、冬に抜け殻を見ることがあるが、草のしげる夏場に見かけることはあまりない。

見かけた 植物・生き物



ハマウド

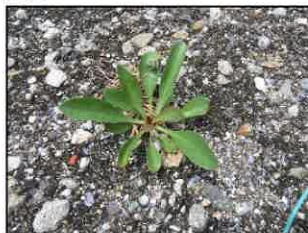


海辺植物

ツルナ



アレチムラサキ



ハマサジ



ウイキョウ



ピロトモズ 幼



ヤブヘビイチゴ



ネムノキ



アカメガシワ



イタドリ

オオシオカラトンボ



日暈（ひがさ）の中を飛ぶ



ヤブキリ



ヒメギス



ムスジイトンボ



チョウトンボ



ギンヤンマ 捕まえたコフキトンボ?



ベニシジミ



アオスジアゲハ



キマダラセセリ

ヌートリア



ほとほと ですねん・・・

その他：モンシロチョウ○・モンキチョウ○・キタキチョウ○・ツバメシジミ○・テングチョウ○・キタテハ○・ツマグロヒョウモン○  
シオカラトンボ○・オオシオカラトンボ○・ショウジョウトンボ○・タイリクアカネ○・マイコアカネ○・アオモンイトトンボ○  
キリギリス鳴っていた・ホトトギスが飛んでいた (○写真あり)

夏の「共生の森」



今年の7月の全国平均気温は気象庁の統計史上、7月としては過去最高を記録。(1898以降)  
 堺市でも6月から一転し、降水量が少なく日照時間の長い7月となり、7月の日平均気温は28.4℃。過去6番目の気温の高さとなった。  
 日差しが強く、暑さのためか、見かける生き物は少なく、ピークを迎えたクマゼミの大合唱が印象に残る日でした。

見かけた 植物・生き物



クマゼミ



アブラゼミ



マダラバツタ



ウラギンシジミ



マイオアカネ



タイワンウチワヤンマ



シオカラトンボ



チョウトンボ

樹液に集まる



樹液に集まる ゴマダラチョウ・カナブン



クサギ



ウイキョウ



クズ



ヤブガラシ



ハマサジ



ツククサ



マルバハッカ



メダカ

クマゼミ



クマゼミの大合唱

・その他：ニイニイゼミ・ツクツクボウシ・モンキチョウ○・ベニシジミ○・ルリシジミ○・ツバメシジミ・アオスジアゲハ・ショウジョウトンボ○・ギンヤンマ○・アオモンイトトンボ○・キリギリス鳴いていた (○写真あり)



コクワガタ【初登場】



自然の遷移に任せておくUポンドにコクワガタがいた。コクワガタがいたのは、高さ4mほどのアキニレの木。木の樹液に ハナムグリと集まっていた。(写真：オス・メス一匹ずつ)  
 もともと何もなかった場所に、アキニレは自然に生えてきた木。周りの木々も大きくなり、また一段階、自然の多様性が上がったよう。  
 コクワガタはどのようにして「共生の森」にやってきたのでしょうか。

大合唱から 蝉しぐれ (ツクツクボウシ)



7月のクマゼミの大合唱から  
 ツクツクボウシの 蝉しぐれに

脱皮したての ジョロウグモ



風にふかれなすすべなし

台風7号



一週間前の8月15日に、当初の予想を大きく西側にそれ、熊野灘から和歌山県を縦断した強い台風7号が「共生の森」の沖の大阪湾を北上した。日最大風速 10.6m/s は堺市での過去 8 番目の記録。「共生の森」ではあまり被害はなかった。ワシントンヤシはこんな機会に葉を落とし、ミノムシのような姿からヤシのような姿になっていく。



クマバチ



サトクダマキモドキ



アカメガシワ



オトコエシ

見かけた 生き物・植物



南方系の ハネビロトンボ 今年もいた



キリギリス 夏の主役のひとつ



久々のミサゴ 足でサカナを

・その他：クマゼミ○・アブラゼミ○・ヤマトシジミ○・ウラナシジミ○・モンキチョウ○・キタキチョウ○・イチモンジセセリ○  
 ショウジョウトンボ○・シオカラトンボ○・マイコアカネ○・チョウトンボ○・キンヤンマ (○写真あり)

ツクツクボウシ



市街地ではセミの鳴き声を聞かなくなったが、「共生の森」ではツクツクボウシがまだ、あちらこちらで鳴いていた。

ツクツクボウシは7月から9月まで鳴いていて、「共生の森」では一番長い期間みられるセミ。

この時季、大きくなったナガコガネグモに捕まっているツクツクボウシがいた。

ナラ枯れ対策



昨年、ナラ枯れが発生した箇所（住友ゴム）対策が取られ、今年はナラ枯れがみられない。



アブラゼミ



ゴマダラチョウ

見かけた 生き物・植物



ギンヤンマを捕まえたオニグモ



クロアナバチ



ショウリョウバッタ



ツチイナゴ



キリギリス



トノサマバッタ



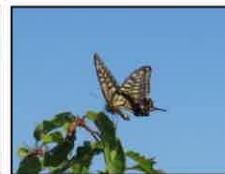
ハネビロトンボ



ショウジョウトンボ



ウラナミシジミ



アゲハチョウ



クズ



クコ



センニンソウ



オトコエシ



キョウチクトウ



アレチヌスビトハギ



ホシアサガオ

草刈り



春に植栽した箇所の草刈り

・その他：ヤマトシジミ○・モンキチョウ○・ウラギンシジミ○・アオスジアゲハ・キタキチョウ・シオカラトンボ○・マイコアカネ○  
アオモンイトトンボ○・ムスジイトトンボ○・チョウトンボ○・ウスバキトンボ○ (○写真あり)

### オオカマキリ



車道にあるタヌキの「ためフン」の横でオオカマキリが甲虫を食べていた。

オオカマキリを車道で見かけることはあまりない。このカマキリは、偶然ここを通りかかり餌を手に入れたのか、それとも「ためフン」に虫が集まることを知り、ここで待ち伏せしていたのでしょうか。

### 見かけた 生き物・植物



ヒメアカタテハ



キタテハ



ツマグロヒョウモン



キタキチョウ



ウスバキトンボ



ハネビロトンボ



タイリクアカネ



マイコアカネ

### 野鳥観察



### 26種類の野鳥が観察された

トビ、ミサゴ、オオタカ、マガモ、カルガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、カイツブリ、オバシギ、ハシブトガラス、キジバト、ウグイス、モズ、ジョウビタキ、ヒヨドリ、メジロ、ソウシチョウ、アオジ、ツグミ、ハクセキレイ、ムクドリ

### シンジュキノカワガ



野鳥観察に驚き飛び出した鮮やかな黄色の蛾

「シンジュキノカワガ」は毎年、中国南部から日本に飛来しシンジュ（ニワウルシ）の木で世代を重ねて北上すること。日本で越冬はできないそう。「共生の森」はいろいろな生き物の交差点になっている。



カリン



ナワシログミ



フウセンカズラ



ヌルデ



フヨウ



ジョロウグモ



ドロバチ巣 セイカアワダチソウ・アオヒメナムグリ



今年の堺市の10月の平均気温は、過去の平均気温を下回ったが、9月の平均気温は過去最高を記録。そのためか10月末にも まだまだたくさんの昆虫がいた。タヌキは冬のおよそおいに。

・その他：モンシロチョウ・モンキチョウ・ヤマトシジミ・ベニシジミ・ウラナミシジミ・イチモンジセセリ・チャバネセセリ・アオモンイトトンボ・ギンヤンマ (〇写真あり)

アオバト



イベントの最中に近くの木にアオバトがやって来たとのこと。林にすっかりとけこんでいる。大阪周辺の山を歩いていると、姿は見えないがアオバトの不気味な鳴き声が聞こえてくる。「共生の森」で見かけられたのは初めて。「共生の森」の森林の多様性がまた少し上がったよう。

キタテハ



どこにいるでしょう。動かなければわからない。



トビ



アオジ



ランタナ



ランタナ種子 タヌキフン



ノイバラ



ナンキンハゼ



ムク



トキワサンザシ(ピラカンサ)

見かけた 生き物・植物



オオカマキリ



ハラビロカマキリ



ウラナミシジミ



キタキチョウ



タイリクアカネ



ギンヤンマ



アホヒナムグリ タヌキフン



カナヘビ

紅葉 ナンキンハゼ



11月6日の最高気温は28.6度。堺市の11月過去最高気温を記録したが、この日11日には木枯らし1号が吹いた。月後半の気温は平年値を下回る日が続き、一気に季節が進み、月末には昆虫も少なくなった。

コミミズク



今年もコミミズクがやって来た。  
人がそばに来ると至近距離から飛び立つ。  
こちらが先に気付くことはなかなかない。  
今回も、突然飛び出し、あっという間に視界  
から消えていった。突然のことで写真に撮る  
のはこれが精いっぱい。コミミズクはこれか  
ら3月頃まで「共生の森」にいる。

見かけた 生き物・植物



ノスリ



ジョウビタキ



ハクセキレイ



スズメ



ムクドリ



コガモ



木の葉が落ちて 鳥の巣がでてきた

・その他：タイリクアカネ

トベラ



シャリンバイ



センダン



トキワサンザシ (ピラカンサ) タチバナモドキ



イヌホオズキ



ユッカ



ナワシログミ



タヌキ糞(ピラカンサ)

尾根の道

